

# 2024年3月理事会議事録

日 時：2024年3月23日（土）14：00～18：10

場 所：日本考古学協会事務所・オンライン会議

出席：辻 秀人・大竹幸恵・佐藤宏之・足立佳代・岩本 崇・大坪志子・岡林孝作・亀田直美・黒沢 浩・小菅将夫・澤田秀実・高倉 純・田尻義了・谷口 榮・谷畑美帆・野口 淳・肥後弘幸・日高 慎・藤沢 敦・藤野次史・水本和美・溝口孝司・山崎和巳、監事：都築恵美子・萩野谷 悟、（事務局：林 純子・近藤絵里奈）

欠 席：足立拓朗

進 行：谷口 榮

議 長：辻 秀人

谷口理事から、本日の出席者は25名（うち理事23名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

## 会員の計報について

小菅理事から、埼玉県の菊地伸之の会員が2023年10月28日、千葉県の大賀 健の会員が2024年1月31日、京都府の梅川光隆の会員が2024年2月28日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

## 議案第756号 退会会員の承認について

小菅理事から、北海道の\*会員、岩手県の\*会員、山形県の\*会員、埼玉県の\*会員・\*会員、千葉県の\*会員、東京都の\*会員、神奈川県の\*会員、長野県の\*会員・\*会員、大阪府の\*会員、兵庫県の\*会員、福岡県の\*会員、宮崎県の\*会員、鹿児島県の\*会員から2023年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。なお、未納会費のある会員については、引き続き滞納会費の納入を求める。

また、賛助会員では、フレンドシップ会員の\*会員、学生会員の\*会員から2023年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

## 議案第757号 第14回日本考古学協会賞の選考結果の承認について

澤田理事から、3月5日（火）に第14回日本考古学協会賞選考委員会を開催し、①応募のあった6件の審査を行った結果、大賞に三阪一徳氏『土器製作技術からみた稲作受容期の東北アジア』、奨励賞に上田直弥氏『古墳時代の葬制秩序と政治権力』及び土井正樹氏『古代アンデスにおけるワリ国家の形成 小集落からみた初期国家の出現課程』を選考した。②優秀論文賞については、機関誌『日本考古学』編集委員会から『日本考古学』第54号に掲載された米元史織氏「MSMsの時期的変遷からみる江戸時代武士の行動様式の確立」、及び英文機関誌編集委員会から『Japanese Journal of Archaeology』Vol. 10, No. 1に掲載された内田純子氏「Gender Structure in Pre-Qin China with Focus on Anyang Yinxu」の推薦があり、受賞にふさわしい旨を確認したとの報告があり、審議の結果、原案通り承

認められ、第89回総会で表彰されることとなった。

続けて佐藤副会長から、これまで書籍で提出いただいていた業績資料をPDFでも受け付けることとする提案があり、原案通り承認された。

#### **議案第758号 2024年度永年在籍会員の顕彰に関わる対象者の承認について**

佐藤副会長から、「会員の顕彰に関する内規」第2条(1)に則り、2024年度の総会時に在籍年数が50年を経過する1975年度入会者43名を対象者として、第90回総会においてその功績を顕彰したいとの説明があり、原案通り承認された。

#### **議案第759号 協会ホームページリニューアル事業について**

大竹副会長から、事業全体のスケジュール予定が示され、公式サイトリニューアル業務委託の指名業者に送付する、プロポーザル実施要項及び仕様書・付属資料が提示された。実施要項では、見積りの上限額や新公式サイト作成後の5ヶ年の保守・管理業務の費用の提出を求めることとし、仕様書では情報が分かりやすい公式サイトのデザインとするとともに、システム面で会員向け等に新たな機能を組み込むとの骨子が説明され、併せて指名業者一覧が提示された。続けて野口理事からシステム面での補足説明があり、審議の結果、実施要項及び仕様書の内容の方向性、指名業者について承認された。

#### **議案第760号 2024年度予算の承認について**

肥後理事から、事前に財務担当理事及び事務局長で打合せの上で財務会議において予算要求の見直しを、各委員会の予算を今年度の実績を鑑みて決定した。2024年度の一般会計予算案は、①収入は会員数の減少により会費収入が減額となるが、総会時の非会員のオンライン参加費や公開シンポジウムの資料集販売等により雑収入が増額となる。また、公式サイトリニューアルを2024年度にシステム面と併せて実施することとなったことから前期繰越収支差額が増額となる見込である。②支出は、i) 事務局職員の給料表改定により給与手当が増額となった。ii) 公式サイトリニューアル事業に、今年度予定していた業務とシステムの導入を併せて800万円を計上した。iii) 英文機関紙は今年度の事業内容を鑑みて、来年度の刊行に関わる予算は計上しない措置をとったとの説明があった。続けて辻会長から、継続的な運営のため収支バランスを考慮した予算作成を行い、予備費で弾力性を持たせているが、予算に計上していない支出が生じる場合は財務担当理事へ相談・確認を要するとの補足説明があった。

審議の結果、一般会計2024年度予算は原案通り承認された。

#### **議案第761号 監事任期満了に伴う退任と新任監事選出の総会提案について**

佐藤副会長から、都築恵美子監事が第90回（2024年度）総会で任期満了となるため、定款第26条第2項に基づき、新監事候補者として、同総会で理事を退任する現財務担当理事の谷口 榮会員（東京都）の推薦提案があった。審議の結果、原案通り、次期監事候補として第88回総会に諮ることで承認された。

#### **議案第762号 災害対応委員会の委員の追加について**

田尻理事から、令和6年能登半島地震に対応するため、新たに石川県の足立拓朗会員・河村好光会員、及び富山県の高橋浩二会員の3名を委員として選任したいとの説明があり、原案通り承認された。

#### **議案第763号 中国四国前方後円墳研究会の陵墓関係16学・協会への加入希望について**

日高理事から、中国四国前方後円墳研究会から陵墓関係16学・協会への加入希望があり、構成する各学・協会においてそれぞれ会として意見集約が求められたため諮るものであるとの説明があり、審議の結果、中国四国前方後円墳研究会の陵墓16学・協会への加入について承認された。

#### **議案第764号 高輪築堤跡に関する会長声明について**

藤沢理事から、高輪築堤跡について、高輪築堤調査・保存等検討委員会の正式な見解が公表されたことを受けて、周辺区域の試掘調査などにより品川開発プロジェクト第Ⅱ期事業予定地の5・6街区においても遺跡が良好に遺存していることが想定されることから、遺跡の現地保存を改めて求める「品川開発プロジェクト第Ⅱ期事業予定地における高輪築堤跡の保存を求める会長声明」を発出したいとの説明があり、文案が提示された。審議の結果、原案通り声明文の発出について承認された。

また、声明発出後のプレスリリースについて、報道機関への送付文案の提示があり、広報担当の足立理事・野口理事から、YouTubeを利用し、より効果的な広報の方法を検討しているとの説明があった。

#### **報告第980号 2024年度名誉会員選考に関わる推薦書について**

大竹副会長から、2023年12月理事会議案746号で名誉会員への推薦が承認された高倉洋彰会員の名誉会員推薦書の提示があり、了承された。

#### **報告第981号 2024年度第90回総会における理事の役割分担と総会議事の口頭報告原稿について**

黒澤理事から、第90回総会日程と進行、及び出欠予定を基とした理事役割分担案の提示があり、一部修正の上、了承された。

続けて山崎常務理事から、第90回（2024年度）定時総会時の各報告・説明担当理事に説明原稿の作成が依頼され、4月末までの提出が求められた。

#### **報告第982号 2024年第2回理事選挙管理委員会の報告**

藤野理事から、2月18日（日）に第2回選挙管理委員会を開催し、①届出書類及び選挙公報の確認、②投票の呼びかけチラシの作成、③開票作業の手順・方法を模擬投票用紙を用いて確認したとの報告があり、了承された。

なお、昨今の郵便事情を考慮した選挙運動・投票開始日の設定が指摘され、次回の課題とすることとなった。

#### **報告第983号 カフェde考古学第6回実施報告**

田尻理事から、2月10日（土）にカフェde考古学2023第6回を災害対応委員会が担当して開催し、当初の予定を変更して令和6年能登半島地震の文化財被災状況を中心とした発表を行い、約50名の参加を得て、終了後のアンケートも概ね好評であったことが報告され、了承された。

#### **報告第984号 会費高額滞納者への催促状況と今後の対応について**

肥後理事及び山崎常務理事から、1月理事会で各理事に分担して3万円の高額滞納者への督促をお願いしたところ、多くの会員に支払いただいたが、3月10日現在まだ21名が会費未納入であるとの説明があり、担当外でも連絡がとれる理事に催促が求められた。

#### **報告第985号 「日本考古学協会公開シンポジウム」の開催について**

田尻理事から、1月理事会で承認された公開シンポジウムについて、「考古学が解明する邪馬台国の時代（仮題）」を9月8日（日）に明治大学で開催し、併せてオンライン配信を行う予定であるとの説明があった。続けて辻会長から、各発表者に発表の承諾を得たこと、開催経費の概算を修正したこと等の補足説明があり、了承された。

#### **報告第986号 アイヌラウンドテーブル関係について**

佐藤副会長から、①アイヌ民族に関する研究倫理指針（案）の研究対象とすべきでない資料の項目追加について、北海道アイヌ協会からの意見を加味して現在の案文となった。②研究倫理指針について、各地域のアイヌ協会から説明要望があり、4月13日（土）の説明会には、アイヌラウンドテーブルに参加している3学協会から代表者が出席し、当協会からは佐藤副会長及び藤沢理事が出席する、との説明があり、了承された。

#### **報告第987号 日本考古学協会有限責任中間法人時の決算処理等について**

谷口理事から、有限責任中間法人から一般社団法人となった際に税制が変わり未処理となっていた、法人化前の日本考古学協会への未払金5,205,384円について今年度決算時に債務免除益として処理するとの説明があり、了承された。

#### **報告第988号 各委員会等における2023年度会議等報告について（その7）**

##### **1 災害対応委員会の報告**

田尻理事から、2月14日（水）にオンラインで委員会を開催し、①令和6年能登半島地震に対応する新委員案を確認した。②石川考古学研究会のホームページで能登半島地震の文化財被害の情報が発信されていることを、当協会公式サイトでの災害対応委員会のブログで紹介することとしたとの報告があり、了承された。なお、東日本大震災や平成28年熊本地震で実施したような能登半島地震の募金については、現地の意向を確認した上での実施の有無の検討が災害対応委員会に求められた。

##### **2 埋蔵文化財保護対策委員会幹事会の報告**

藤野理事から、2月17日（土）及び3月10日（日）に幹事会を対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、①港区高輪築堤跡について、高輪築堤調査・保存等検討委員会の

正式な見解が公表されたことから、5・6街区の現地保存を要望する会長声明の発出を検討し文案を作成した。②令和6年能登半島地震について、災害対応委員会と情報を共有するとともに、第90回総会の埋文委ポスターセッションにおいて一部災害対応委員会が担当する予定である。③栃木県小山市琵琶塚古墳について、現状変更の手続き不備が認められたことから小山市教育委員会と面談を行い、改善を図るとの回答を得たが、今後も注視する必要がある。④大阪府島本町水無瀬離宮推定地跡について、開発の現状が報告された。⑤北九州市旧門司駅跡について、2月に保存要望書を提出した。⑥第90回総会ポスターセッションの内容について協議したとの報告があった。旧門司駅跡については、1月以降の動向について説明、日本イコモス国内委員会副委員長の溝口理事からも補足説明があり、注視する必要性が確認された。

### 3 広報委員会の報告

野口理事から、1月18日（木）及び2月13日（火）・3月14日（木）に委員会をオンラインで開催し、①公式サイトのリニューアルについて指名型プロポーザルの実施要項及び仕様書、付属資料のCMS一覧等を検討した。②災害発生時の公式サイトでの発信についての手順を協議した。③カフェde考古学についてポスター・チラシを作成したとの報告があり、了承された。

続けて大竹副会長から、カフェde考古学について、これまでアウトリーチワーキンググループを作成して実施してきたが解散し、今後は広報委員会が経費を含めて全体調整を担うとの補足説明があり、了承された。

### 4 機関誌編集委員会の報告

黒沢理事から、2月28日（水）に編集委員会をオンラインで開催し、①日本考古学協会賞優秀論文賞への推薦論文の選考を行った。②『日本考古学』投稿規定及び執筆要項を改訂したとの説明があり、了承された。

なお、科学研究費補助金に関わる研究成果のオープンアクセス化については、引き続き情報収集を行う。

### 5 陵墓の報告

日高理事から、①陵墓16学・協会では、陵墓学術名称ワーキンググループにおいて陵墓の学術名称を検討しており、中間報告案を作成したとの説明があり、各理事に意見が求められた。② i) 今年度の限定公開が2月2日（金）に、塚穴古墳（来目皇子埴生岡上墓）で実施され、当会からは岡林理事・日高理事が参加した。ii) 立会調査見学が、2月29日（木）に高屋山上陵で実施され、当会からは岩本理事が参加した。iii) 本年度の立入り観察が3月1日（金）に、誉田御廟山古墳（応神天皇恵我藻伏岡陵）を対象として実施され、昨年立入っていない8学協会8名が参加した。当会からは岩本理事・岡林理事が現地での対応に当たった。iv) 陵墓16学・協会の全体会議を開催し、中国四国前方後円墳研究会の加入について協議したとの報告があり、了承された。

### 6 入会資格審査委員会の報告

藤野理事から、正会員の入会における共著の提出業績の取扱いについては次期入会資格審査委員会で「正会員入会資格基準に関する内規」への記載を検討することとなったとの説明があり、了承された。

## 7 アーカイブス小委員会の報告

足立佳代理事から、協会資料のアーカイブ作業進捗状況が提示され、小委員会としての活動は来年度で終えるため、未着手で残る資料について次期理事会での検討を要するとの説明があり、了承された。

## 8 理事選挙制度検討小委員会の報告

小菅理事から、3月9日（土）に小委員会を対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、①委員会体制が変わることから引継ぎを行い、新たに委員長に芹沢清八会員、副委員長に大工原 豊会員を選任したことが報告され、了承された。

## 9 企画の報告

田尻理事から、①第90回総会における非会員のオンライン参加の有料化について、企画担当理事で協議し、学生は対象とせず無料とすることとした。②第90回総会のポスターを実行委員会の協力を得て作成中であるとの報告があり、了承された。

### 報告第989号 名義使用の後援依頼に関わる承認について

山崎常務理事から、①水無瀬離宮を未来へつなぐ実行委員会からシンポジウム「後鳥羽上皇が造った都市・水無瀬離宮を考える」についての後援（名義）依頼が、②観光考古学会から第2回観光考古学セミナー「新型コロナウイルス感染症後の文化観光」についての後援（名義）依頼があり、それぞれ名義の使用を承認したとの報告があり、了承された。

### 報告第990号 第21回日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について

山崎常務理事から、日本学術振興会から第21回日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について周知の依頼があるとの説明があり、了承された。

## その他

### 1 2023年度宮城大会関係の報告等について

山崎常務理事から、2023年度宮城大会第1分科会の発表における会員から問い合わせがあった内容について、1月理事会以降の経過、状況と今後の対応等が説明され、理事会で共有された。

### 2 理事、監事の引き継ぎ書について

山崎常務理事から、理事改選にあたり、各理事・監事に期日までの引き継ぎ書の提出求められた。

以上

